

事務事業説明シート

事業No. 8

①事務事業名	宇部市民教養講座開催事業								
②所管課	教育委員会 コミュニティスクール推進課								
③ 施策の背景	事業の背景・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ ころ豊かな市民文化の向上 ・ 明るい都市づくりに寄与 							
	受益者	市民							
	目標 (アウトカム目標)	目 標	講座3回開催/年				達成期限	-	
	計画	後期実行計画		×	まち・ひと・しごと創生総合戦略			×	
④ 事業説明	事業の概要	<p>ころ豊かな市民文化の向上を目的に、各界で活躍中の著名人を講師に招き、渡辺翁記念会館で講演会を開催する。</p>							
	事業内容 (具体的な手段・手法・業務)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宇部ライオンズクラブと教育委員会で構成する宇部市民教養講座実行委員会で講座を企画 ・ 宇部ライオンズクラブと宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課で講座を運営 ・ 著名人による3講座の開催 (チケット/2,000円 3講座通し券) ・ プレイガイド (6箇所)、ふれあいセンター等関係施設 (31箇所)、協力企業・団体 (10箇所) でのチケットの販売 							
⑤ 投入資源	事業費・人件費	事業費				人的資源 (参考: 正規職員1人/年≒804万円/年)			
		H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)
		0千円	0千円	0千円	0千円	正規0.3人/年	正規0.3人/年	正規0.3人/年	正規0.2人/年
⑥ 事業効果	アウトカム (活動成果): 事業によりもたらされる効果を定量的に把握	アウトプット (活動実績)				アウトカム (活動成果)			
		指標: 3回				指標: 2,700人 (延べ参加者数)			
		H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	H30(見込)
		3回	3回	3回	3回	2,750人	2,782人	3,095人	1,507人

⑦ 自己点検結果	A 必要性			B 有効性			C 効率性		
	A-1.事業の目的は市民や社会のニーズを的確に反映しているか	A-2.民間団体等にゆだねることができないか (○:行政が行うべき、△:一部民間、×:民間で行うべき)	A-3.背景・目的・目標の達成手段として必要かつ適切な事業か	B-1.事業内容は背景・目的に即したものであるか	B-2.活動実績は活動成果に大きく貢献するものとなっているか	B-3.活動成果は目標達成に向け、計画どおり推移しているか	C-1.投入資源に見合ったアウトプットを生み出しているか	C-2.事業手法について、考えられる他の手法より、高効率または低コストか	C-3.その他、コスト削減や効率化に向けて適切に取り組んでいるか
	A-1 ○	A-2 △	A-3 ○	B-1 ○	B-2 ○	B-3 ○	C-1 ○	C-2 ○	C-3 ○
	評価基準								
	A 必要性			B 有効性			C 効率性		
A-1 ○ 十分できている △ 一部できている × (あまり) できていない — 事業に該当しない評価項目 A-2 ○ 行政が行うべき事業である △ 一部民間にゆだねることができる × (基本的に) 民間にゆだねることができる A-3 ○ 必要かつ適切な業務である △ 必要ではあるが、事業の代替を検討すべき × 必ずしも必要とはいえない — 事業に該当しない評価項目			B-1 ○ 十分即している △ 一部即している × (あまり) 即していない — 事業に該当しない評価項目 B-2 ○ 実績は成果に大きく貢献する △ 貢献する × 若干貢献する、または(あまり)貢献しない — 事業に該当しない評価項目 B-3 ○ 計画どおり(計画値の100%以上) △ ほぼ計画どおり(計画値の80%~99%) × 計画どおりとは言えない(計画値の80%未満) — 事業に該当しない評価項目			C-1 ○ コストパフォーマンスは高い △ コストパフォーマンスは若干低い × コストパフォーマンスが低い — 事業に該当しない評価項目 C-2 ○ 他の手法より、高効率・低コスト △ (たぶん) 高効率・低コスト × 高効率・低コストと言えない — 事業に該当しない評価項目 C-3 ○ 定期的にコスト削減・効率化に取り組んでいる △ 過去に取り組んだことがある × 取り組んだことはない			
見直しの方向性		より効率的・効果的な事業実施を目指して継続							
⑧ これからの見直し	<p>毎年度、第3回講座の参加者へのアンケートを基に、次回の企画内容を検証している。</p> <p>2019年度の第44回講座では、新たにテレビ広告を行うことと、子育て世代の参加を増やすため託児の利用料(300円/人)を無料にする。</p> <p>本事業は、宇部市で各界の著名人から講話が聞ける貴重な機会であり、多くの市民の参加があるため、時代にあった講師と内容を選定しながら継続して実施する。</p>								